

# 「スリランカ料理&BEER Palette」

## 22年ありがとうございました。

先月号でお知らせしました通り、「障害者、健常者、外国人が共に働き、利益を追求する企業体」としてぱれっとの事業の一角を担ってまいりました「スリランカ料理&BEER Palette」は、2012年12月26日をもって営業を終了いたしました。改めまして、22年間、沢山の皆様にご愛顧賜りましたことを心より感謝申し上げますとともに、企業として、事業を継続できなかったことについて、深くお詫び申し上げます。このような結果にはなりましたが、1991年のオープン、1996年の移転を経て、外食産業を巡る環境が著しく変化していく中、激戦区恵比寿にて22年間戦い続けられましたことは、私たちにとって大変貴重な経験となり、学びとなりました。この経験を反省材料とし、また今後の糧として、新たなステージへさらなる挑戦をしてまいります。

### ●多くの皆様からの激励

お陰様で、先月号のつうしん掲載や郵送でのお知らせ後、電話やメールで本当に多くの皆様から激励のお言葉を頂きました。また最終営業となった12月は、例年になく沢山の方々にご来店、ご利用いただき、連日満員の状態となりました。やはり22年という年月は、短いようで長く、また、多くの皆様の支えがあってこそのものであったと実感しています。次ページに一部ご紹介させて頂きましたが、暖かいお言葉とともに、次の展開への期待の声も多数あり、このままでは終われないという気持ちを新たにしました。

### ●22年の総括

今後の取り組みを考える上で、まずはこのレストラン事業の総括を行なう必要があります。このような結果にならざるを得なかった要因は何か、どんな要素が必要だったかなどの評価と反省を行なう中で、ぱれっととして今後向かう方向はどこか、そのために必要な社会資源は何かなどの検証を行ないます。この作業自体、大変辛い側面もありますが、今まで、社会変革や新しい価値の創造を行ってきた、ぱれっとならではのユニークな取り組み方を見つけたいと思います。そのためには改めて学び、スタッフ皆で議論し、ひとりひとりが考えることも必要です。また、外部の方々とも連携し、協力を仰ぐことも考えたいと思います。2012年5月のNPO法人ぱれっと社員総会にて、谷口前理事長から相馬理事長へそのバトンが渡され、ぱれっと全体が新しい時代へ進もうとする時期とも重なり、理念の再構築、組織変革なども含めて今後の方向を定める良いタイミングなのかも知れません。

### ●今後のこと

現在働いている従業員の今後につきましては、ご挨拶と共に次ページに記載させて頂きました。また、カレーの製造を含め、今後の展開に関しては、将来を見据えた方向性を関係者全員で考え、皆様へご報告いたします。最後になりますが、改めまして、22年間本当にありがとうございました。

スリランカ料理&BEER Palette 店長

南山達郎

# 22年ありがとうございました。

『人生の1/3以上の時間をこの日本で過ごしてきました。日本は私にとって第2のふるさとであり、ぱれっとは第2の家でした。レストランの従業員だけでなく、ぱれっとのスタッフは全て、私の家族です。そして、お客さんはもちろん、ゴミ回収の業者さんまで、私のベストフレンドです。ありがとう日本、ありがとうぱれっとの皆さん。本当にありがとうございました。』

シェフ ロハン・フェルナンド

▲ロハンさんは、昨年体調を崩したこともあり、しばらく故郷のスリランカで静養するために年末に帰国。日本語が堪能なため、観光客へのガイドなども考えているそうです。

『22年間本当にありがとうございました。これまでがんばって来られたのも、皆様のお力添えがあったからだと思います。まだ具体的にはわかりませんが、これからは新しい道でがんばっていきたいと思います。ありがとうございました。』

主任・佐藤雅敏

▲佐藤さんは、しばらく体を休め、落ち着いてから、地元の世田谷区で飲食関係の仕事に就きたいと考えているそうです。

『22年間ありがとうございました。今は少し体調を崩していますが、だいぶ良くなってきたので、また仕事をがんばりたいです。』

大畑和美

▲大畑さんは、体調と相談しながら引き続きぱれっとに在籍して仕事をします。

ロハンさんの長男、ラサットさんは、弟ヤシットさんとともに日本に留まり、アルバイトをしてお金を貯め、スリランカに帰って何らかの形で起業したいと考えているそうです。

『ぱれっとでの2年間はとてもハードな仕事の毎日でした。知らない国で働くのは難しいはずでしたが、私を実の息子のように可愛がってくれた谷口夫妻、親友でもあり、父のようでもあった南山さん、そして雅敏さん、和美さん、アルバイトの深山さんなどの仲間たちに囲まれて幸せな時間でした。このような機会を与えてくれた父と母にも感謝しています。ありがとうございました。』

ラサット・フェルナンド

## 【お客様からの声】

「お店が無くなるなんて信じられません。南山さんの優しい笑顔とロハンとの会話が楽しみでした」

「ぱれっとのイベントに来る人はみんな暖かくて、引っ込み思案の私もつい出かけてしまいました」

「いつも戻って来られる場所、ほっとできる場所、それがぱれっとでした。寂しくなりますね」

「22年間の歩み、あっぱれ！」「いっぱい充電して新たな目標に向かってください！」

「当たり前にあるものが無くなって、なんか不思議な感じです」

「22年とは驚きです。皆に愛された証ですね」「衝撃！残念！無念！でも今後に期待！！」

「何事も万物流転。ぱれっと発の新たな価値創造に期待！」

「今の妻との再会のきっかけがぱれっとで開かれた同窓会でした・・・寂しくなります」